

さらに使いやすく進化したベストセラー書棚 小島工芸『アコード』

発売から25年以上の歴史を持つ小島工芸のロングセラー書棚。お客様のご要望や最新トレンドを採用し時代のニーズに合わせて進化するのがヒットの秘密です。今年には以下の改良を加えさらに使いやすくなりました。

- 要望多数の「ロータイプ(アコードL)」登場
- 棚ダボのピッチ改良 60mm→30mm
- 地震対策のさらなる強化
 - ・ 棚板ダボ穴改良で約1度傾斜を実現→揺れに強く、本が落ち難い。
 - ・ 上置きと本棚本体の接続パーツを変更→ボルトを貫通させて強固にボルト止めする仕様に変更しました。
 - ・ 本体と上置きの組み合わせで多彩な書棚高さを実現しました。

小島工芸のYoutube動画をご紹介します。
https://www.youtube.com/watch?v=6bcti_ljvto

◆『ロータイプ(アコードL)』を店内展示中

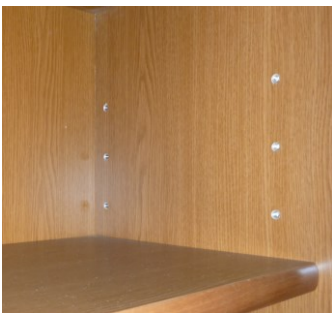


90アコードL W903・D305・H873

巾60cm	アコード60L
巾75cm	アコード75L
巾90cm	アコード90L ●
巾105cm	アコード105L
巾120cm	アコード120L

カラー	4色	ウッディホワイト
		ライト
		ミディアム ●
		ウェンジ

◆棚ダボのピッチ改良 60mm→30mm



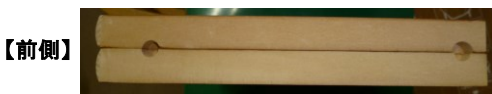
(従来)ダボ穴ピッチ60mm



(新)ダボ穴ピッチ30mm

効率の良い棚の位置決めが可能になりました。
 ・ムダな空きスペース削減で、収納冊数アップを実現しました。

◆棚板ダボ穴改良で約1度傾斜を実現 →揺れに強く、本が落ち難い。



【背板側】 <上段>新タイプ
 <下段>従来タイプ【上下逆にて撮影】

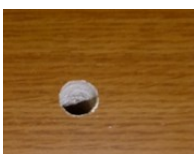


【背板側】 <上段>新タイプ:背板側のダボ穴が一回り大きい
 <下段>従来タイプ

ダボ受け窪みの大きさを前後で変えました。奥側を前側より一回り深く削り棚板をセットした際に棚板角度が約1度、後ろに傾斜します。角度をつけると棚に本を載せた時に書棚の後ろ向きに重心がかかります。地震でも手前に本が落下するのを防ぐ効果を生みます。一般に棚板のダボ穴を必要以上に大きくしては棚板荷重強度の問題が発生します。「アコード」棚板は厚み24mmで強度があるので実現できた技です。

◆上置きと本棚本体の接続パーツを変更。

→ボルトを貫通させて強固にボルト止めする仕様に変更。
 本体と上置きの組み合わせで多彩な書棚高さを実現しました。



<天板上>穴貫通



<天板の下>穴貫通



<天板の下>ボルト締め

◆本体と上置き組み合わせで多彩な書棚高さを実現

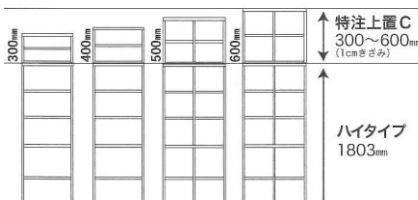
◆組み合わせ高さ例

※表示の寸法には耐震補助具の高さを含みません。
 ※耐震補助具は着脱可能です。取付け時は、本体高さ寸法プラス5cm~10cmになります。
 ※耐震補助具は特注上置Cの付属部品です。ご使用されない場合でも価格は変わりません。



組み合わせ高さ例 1173mm 1223mm 1423mm 1473mm
 ※耐震補助具の高さを (873+300) (873+350) (873+550) (873+600) 含みません。

ロータイプ+特注上置C(耐震補助具なし)
 製品高さ 1173~1473mm(1cm刻みで対応)



組み合わせ高さ例 2103mm 2203mm 2303mm 2403mm
 ※耐震補助具の高さを (1803+300) (1803+400) (1803+500) (1803+600) 含みません。

ハイタイプ+特注上置C(耐震補助具なし)
 製品高さ 2103~2403mm(1cm刻みで対応)
 ハイタイプ+特注上置C(耐震補助具あり)
 天井高 2180~2500mmに対応します。